プログラム



20IC 行事部

Play the Game !!

「スカウティングのあらゆることをゲームとして眺めるなら、スカウティングは楽しくなる。その場合、我々はチームに加わり、それぞれが自分の持ち場で味方が良くなるようにプレーする。そして、その精神を身につけたとき、単なるゲームをしているのではなく、偉大なゲームをしているということが分かる。」「ゲームをしなさい･･･見物するのではなく。」「ゲームが楽しいかどうかは、やってみることだ」（ロバート・ステファンソン・スミス・ベーデン - パウエル）



友情

新たな出会いを作なければキャンポリーではない！

B-P は、「国境を越え、スカウティングという目標を一つにした、世の中を良くしようという仲間が集まり、語り、行うことによって学ぶ！　を実践すれば、どんなに素晴らしい世の中がこれからできるだろうか！」と語っている。

「友人」はいつの間にか「同志」となり、そして、かけがえのない「仲間」となる。そんな機会を B-P は作ってくれた。それは性別を越え、年齢を越え、そして住んでいる世界を越えていく。

それは、このスカウト運動に入っているからこそできる、素晴らしい出会いの場なんだ。スカウト同士、指導者同士、いろんな人がいろんな出会いを感じる。それがキャンポリーの素晴らしさなんだ。

キャンポリーは、限りなく楽しい。それは、君たち自身が積極的にかかわるからだ。他の人にやってもらっても、待っていても、与えられても、それを感じることはきっとできない。自ら進んで仲間と関わるから楽しい。仕事を分担し、助け合い、協力し合うことで絆が生まれ仲間となれるから楽しい。責任を果たし、不平不満を言わず、真心を込めて進んで物事を行うことで信頼される、人との関わりが変わる。だから活動が楽しくなる。みんなでルールを守る。制約の中でいかに快適にしていくかを考える。工夫する。仲間達と同じ土俵で競う。だから楽しい。

それをするからスカウトだ。それができるからスカウトなんだ。

Play the Game ！！



愉快

自ら楽しまなければ、自ら面白くしなければキャンポリーではない！

それがキャンポリーの素晴らしさだ。

「スカウトは皆兄弟（姉妹）！」そして「話し合うことによって、問題はすべて解決できる（戦争のない素晴らしい世の中）！」という B-P の理念によって、1920 年に第1回の世界ジャンボリーがロンドンのオリンピアで開催されてから 102 年、茨城県連盟の戦後の再建から 70 年の今年、2021 年。第 20 回茨城県キャンポリーが「大和の森」高萩スケジュールフィールドで開催される。このキャンポリーでスカウティングスピリットを体で感じてほしい。

Catch the Scouting Spirits ！！



感動

スカウティングの素晴らしさを体感できなければキャンポリーではない！

朝もやが立ちこめるキャンプサイトに、目をこすりながら炊事当番が出てくる。そして朝食を作り始める。どこの隊でも同じような光景が繰り広げられている。

美味しい朝食を『いただきま～す！』の元気な声で食べ始める。

さぁ、1日の始まりだ。

昼は隊プログラムや常設プログラム。夜は他の隊との交歓会だ。友と出会い、友と語り、1日が過ぎていく。

開会式で、キャンポリーの素晴らしさを体感し、キャンポリーナイトでおもしろさを体験し、閉会式で感激を味わう！

この運動のすごさ、多彩な仲間、そして、キャンポリーに参加して良かった！と誰もが感じる喜びだ。

スカウトだけでなく、指導者も一生忘れない思い出となるだろう。

茨城にスカウト運動が始まって 70 年。
変わった。
人も代わり、世の中も変わり、心も変わり、スカウティングのスタイルも変わってきた。
でも、B - Pの「願い」はいつになっても変わらない。「ちかい」と「おきて」というコンパスを私たちは忘れてはならない。
閉会式のとき
「感謝」と「良い思い出」を残せるよう
そして
「ちょっと成長した自分」を発見することができるよう
4 日間の「時間」を大切にすごそう！！

Scouting is Fun ！！

20IC は、各隊・班がそれぞれ企画・計画・実施する**各隊プログラム**と、大会として行う**全体行事**（開会式、キャンポリーナイト、閉会式等）、そして、大会本部（行事部）が行う、**常設プログラム**があります。

CHECK

各隊プログラム



各隊独自プログラムの例

会場及び周辺でできること

1. 立木伐採プログラム（県連に申請が必要）
2. ハイキング　土岳、竪破山
3. サバイバルハイキング　（大和の森ｽｶｳﾄﾌｨｰﾙﾄﾞ内）
4. 採集プログラム　草、魚、昆虫
5. パイオニアリング　現地丸太使用可
6. シャワークライミング　別エリアに滝あり

＊花貫水系は本支流とも漁業権の設定はないようです。
＊ここに掲載した内容は、ごく一部です。各団で現地下見を実施した上で計画・実施してください。また安全対策は万全で万全にして んでください。

プログラムにおけるコロナ感染予防対策

【新しい生活様式を定型化する】

- 各隊・各班で活動を行う際は、コロナ感染防止計画書とチェックリストなどを作成する。
- 手洗い、マスクなど活動の中で一定のルールを決めて、スカウト自らが取り組む。

【スカウト活動の開始時・終了時】

- 活動開始時及び終了時には、かならず「手洗い」をする。

【整列、報告】

- 整列するときは、スカウト相互の身体的距離を 1m 以上とること。指揮指導者とは 2m。
- 集合完了時の報告は、その場で行うこと。

【ゲーム・プログラム】

- スカウトが密集したり、近距離で組み合ったり、接触したりするゲームやプログラムは避ける。
- 各自でそれぞれの身体的距離を 1m 以上とること。

【ソング、いただきます、ごちそうさま】

- ソングの合唱はする場合は、広々としたところで。
- 『いただきます」「ごちそうさま」は心の中で感謝の気持ちで。

【ハイキング】

- 想定・ストーリーを取り入れて、より楽しめるハイキングを。
  ⓐ密集、密接にならないように工夫してプログラムを行う。
  ⓑ呼気が激しくなるような運動を伴うアップダウンのあるコースは避ける。

【登山やトレッキング】

- 狭い登山道に多くの登山者が集中するコースは避ける。
  ⓐ密集、密接にならないコースを選択して行うこと。
  ⓑ歩行中は身体的距離（2m 以上）を空けること。
  ⓒ体力が大幅に消耗するような、アップダウンの激しいコースや長距離のコースは避ける。

【その他の活動】

- 水を飲むときは、蛇口から直接ではなく、自分専用ボトルに水を入れ、そこから飲む。
- 清潔な流水が使用できない場合、ウエットティッシュや手指消毒剤が使えるようにしておく。
- 「3 つの密」を避けること、共通の用具は消毒すること、呼気が激しくなるような運動は避けること等を勘案して、活動の教育効果、感染のリスク等について、十分に検討を行った上で、実施する。

全体プログラム

CHECK

今回の県キャンポリーは、合同野営大会の形式をとっていますが、茨城県連盟の公式大会として実施します。
そのため「開会式」「閉会式」のセレモニー、県内のボーイスカウトが一堂に会、交流し親睦を深める機会である「キャンポリーナイト」を全員が参加する「全隊プログラム」として実施します。



開会式　8/8 16:30～（集合完了 16:20）

○集合

1. 集合　（16:20）
2. 場所「アリーナ」

○今年度 隼、富士章取得スカウト紹介

○第 20 回茨城県連盟キャンポリー開会式

1. 国旗、世界スカウト旗、県連盟旗入場
2. 開式の辞
3. 国旗儀礼
4. 大会長挨拶
5. 来賓挨拶
6. 来賓紹介
7. 開会宣言
8. スカウト宣誓
9. 閉式の辞
10. 来賓退場

＊15:30 より予行演習を行います。次の方はアリーナ前に集合ください。

- 各隊の旗手（隊旗持参）
- 旗手 3 名（国旗、世界スカウト旗、県連旗）
- 代表スカウト（感謝のことば、スカウト宣言）



＊1　開会式、閉会式は全員参加です。
＊2　必ず制服・制帽を、スマートに着用して参加してください。
＊3　スカウト、指導者はアリーナ観客席に、1 人分の席を空けて着席してください。

○スカウト募集

【開会式】

- 旗手:VS 3 名（国旗、WS 旗、県連旗）
- 代表スカウト:BS 1 名（スカウト宣誓）

＊応募につきましては、7 月 25 日までに、県連事務局に所定の様式で提出してください。尚応募多数の場合は、大会運営本部にて抽選の上決定いたします。



いまこそ つどえ！　70 周年前夜祭

8/8　19:30～20:30

♪「こよい この森に～ 楽しきまどいせ～ん 燃えよかがり火よ～ 歌えはらからよ～」
今年、茨城県連は創立 70 周年を迎えます。そこで、70 周年を記念して、火を囲みながら、みんなで楽しむプログラムをやっちゃいます。

1. 隊旗入場
2. 70 周年ストーリー
3. シークレットプログラム

＊1. 前夜祭は、任意参加です。
＊2. 参加各隊から隊旗、三脚と隊旗旗手 1 名の出演をよろしくお願い致します。
＊3. 服装は旗手以外は自由です。
＊4　スカウト歌集を持参ください。.



キャンポリー・ナイト

8/10　19:00～20:50



８月 10 日の夜は、茨城キャンポリー恒例の「キャンポリーナイト」です。
今回は「スカウト祭」として実施します。
みんなで、ソーシャル・ディンタンスを撮りながら楽しい「祭り」を作り上げましょう！！

○スケジュール

18:00　屋台などの準備開始　（場所は当日指定いたします）
19:00　キャンポリーナイト開始
19:15　ステージオープン　（出し物の順番は当日指定いたします）
20:50　キャンポリーナイト終了
21:30　後片付け終了

地区でやること

1．屋台

- ●１台
- ●飲食、ゲーム、クラフトなど（飲食については食中毒防止、感染予防のため衛生管理を徹底し、パック等で個装にて販売することとします。
- ●屋台はアリーナエリアに点在させ間隔をとります。また、並ぶ場合も間隔をとる工夫をとってください。
- ＊内容把握のため、指定書式（大会書式集）にて事前申請をしてください。
- ＊屋台での販売の対価は、キャンポリー通貨を使用するものとし、価格設定は、100 キャンポリー / 点とします。
- ＊材料（飲食物、クラフト材料、光熱 、梱包費等含む）は、１点あたり、￥100 未満とします。準備数量については、大会本部より連絡いたします。材料費は、単価×指定数で支給予定。（要レシートまたは、領収書）
- ＊雨天の場合、スカウトホールにて実施。
- ＊屋台での販売は、現金ではなくキャンポリー通過（イーボ）を、一人あたり 300 イーボ（50 イーボ×６枚）支給いたします。
- ＊キャンポリーナイト中は原則としてマスク着用、屋台での商品購入前に手の消毒、ソーシャルディスタンスを徹底してください。



地区・隊でやること

2．アリーナ特設ステージ出演

- ●各隊で最低１班はエントリー
  内容は → 競技、ゲーム、歌、演劇、その他
- ●時間：　５分から 10 分
- ●参加単位：　BS ＝班単位、VS ＝個人、チーム
- ●当日エントリー可能（事前が原則）

＊飛び入り参加ＯＫ。ステージ司会者がその場で募りますので、意思表示をして参加してください。
＊時間の関係で、飛び入り参加できない場合もあります。





閉会式

8/11　8:30～9:00　（集合完了 8:50）

○第 19 回茨城県連盟キャンポリー閉会式

1．集合
2．開式の辞
3．連盟歌斉唱
4．名誉大会長挨拶
5．県連盟コミッショナー講評
6．スカウト感謝のことば
7．閉会宣言
8．国旗降納
9．閉式の辞
10．解散

＊１　閉会式は全員参加です。
＊２　服装は、制服・制帽です。
　　スマートに着用して参加してください。
＊３　班旗を忘れずに持参してください（班長）。

たがいに競え！　常設プログラム

○常設プログラムは、キャンポリーが持つ本来の意味である「班が競って No.1 を目指す！」を実現するために、大会本部が実施するものです。
○参加は右の条件を満たせばOK。→→→→→
○プログラム実施時間内であれば、いつでも、何度でも参加可能です。

プログラム実施時間　　8/9,10　9:00-16:00

詳しくは大会本部掲示板に掲載します。





ジャンボリー日本一プログラム

所要時間 45 分

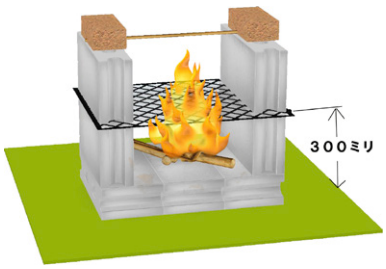
火を絶やすな　「火おこし」

♪わこうどの心のうちに　燃ゆる火を　この世に輝く　かがり火を
　火を　火を　火を　火を　火を絶やすな
　・・・ってなことで、スカウトソングの「火を絶やすな」を歌ってみました。この火は君たちスカウトの情熱の火である。その火を日本一にまで高めて、「スカウト茨城ここにあり！」を全国に轟かせよう。この日本一プログラムは、来年実施される第 18 回日本スカウトジャンボリーのプログラムを、特別にここ茨城で実施するのです。
　全国のスカウト諸君、「来るなら来い！！」

概　要

班対抗火おこし競技。班対抗のタイムトライアル
用意された材料でかまどを作り、持参した薪等を組んで火をつけ、ひもを焼き切る。

ルール



① 用意された材料で、かまどをつくる 作り方は指定する
② 持参した薪等を組む。（薪組みの さは地上 30cm とする）
　持参する薪・焚き付けは「自然の樹木」とし、参加班が用意する。その配分は問わない。薪等の量は指定の袋 1 つに入るだけ。
③ マッチで火をつける。マッチ 2 本以内 で火がつかない場合、失格
④ 競技時間は 30 分間（時間内に立たなかった場合は失格、ひもを火で焼き切れなかった場合も失格）
⑤スタートから ひもを焼き切るまでの所 時 を競い合う。

注意事項

＊タイムトライアルだが火を扱うので、慌てず確実に作業を行う。
＊競技後は、後片付けと原状回復を行う。
＊確実に消火し、燃えさしは所定の容器に入れる。
＊自分だけでなく、回りの状況をよく確認して作業を行う。
＊班長は全体を把握し、班員の安全管理を怠らない。
＊雨天実施　ただし豪雨その他、行事部が判断した場合中止。

エントリー

先着 、同時エントリー 3 班まで。

個人持ち物・服装

長ズボン、半袖 OK、革手袋、帽子、マッチ、うちわ、袋に入れた薪

参加条件

1.「どの」常設プログラムに「いつ」参加するかは、班会議で決められていること。
2. それが班長会議で承認されており、参加のたびに隊長の参加許可が得られていること。
3. 班員全てが参加すること（体調不良等の場合を除く。ただし参加隊指導者の承諾を得ること）
4. 真剣に取り組む意志があること。（いい加減な気持ちでの参加はケガにつながるため）
5. 途中で投げださず、最後まで最善（Best）を尽くすこと。
6. 班員全員が、思いっきり楽しむこと。



交野第3団 HP より

ジャンボリー日本一プログラム

所要時間 45 分

わが旗かざし「班旗立て」

「♪ 班旗立て、班旗立て、君（班旗）と話したいことがある、それを思うとワクワクするよ
君が近くにいてもいなくても、 そんな素敵な日々です」（あいうえおんがく GReeeeN 改）
いつも班とともにある班旗、そんな班旗をどの班よりも早く立てようぜ。

概　要

班対抗「班旗立て競技」
班対抗のタイムトライアル
与えられた材料で班旗を自立させ、より高く（3m 以上）立てる

ルール

①用意された班旗の棒を 3 本を、それぞれロープでつないで自立する班旗を作る。
②班旗の高差は（班旗の上端）が 3m 以上。
③棒のつなぎに使う結びは、各班で考える。
④競技時間は 25 分。（時間内に立たなかった場合は失格）
⑤スタートから 15 秒の自立（手を離してから）までの所要時間を競う。

注意事項

＊タイムトライアルだが、慌てず確実にクリアする。
＊ 分だけでなく、回りの状況をよく確 して行う。
＊持参する班旗は棒から外し支給された棒に付け替える。
＊班長は全体を把握し、班員の安全管理を怠らない。
＊雨天実施。ただし豪雨その他、行事部が判断した場合中止。

エントリー

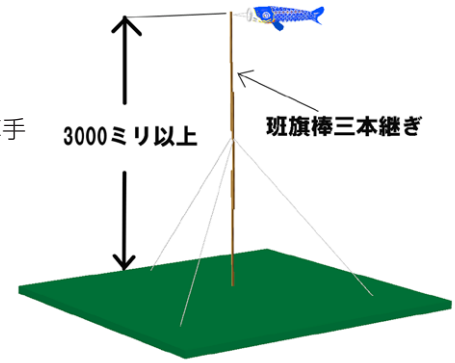
先着順、同時に 3 班まで。

個人持ち物・服装

＊半袖、長ズボン、運動靴、キャップ、革手
もしくは 手滑り止め付き

班の持ち物

＊班旗（旗のみ）、紐 6 m：6 本、
ハンマー 1 個、





観察・推理系プログラム　　所要時間 45 分

ジョン・ブラン「手旗信号リレー」

「♪ ジョン・ブラン　手旗信号　ジョン・ブラン　原画練習　ジョン・ブラン　記号練習
　原姿はこれだ ♫」

「え゛～、いまどき手旗なんか古くさっ」・・・なんてことを言っているキミ！　それはちゃうでぇ！！　それはゲームなのである。信号通信ゲーム！　それを楽しんでやってたら、たまたま何か必要なときに手旗信号が役立っちゃった！！　なんだっぺよ。班対抗で競うことで、他の班に負けたくないから、より正しく、より高度にワザを高めていくんだよねー。　えっ？！　そんなの知ってるって？・・・あっそ (-_-#)。

概　要

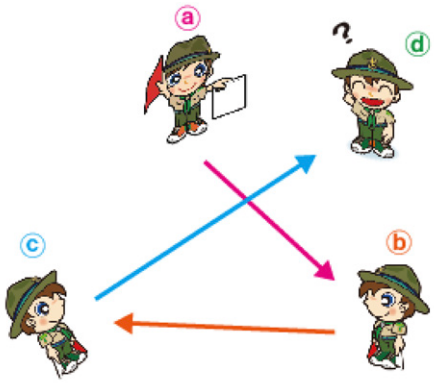
○班対抗手旗信号リレー競技。班対抗のタイムトライアル
○手旗信号を受信して、直ぐに 送信リレーする手旗信号による伝言ゲーム。手旗スキルの実践

ルール

①４つのポイント ⓐスタート → ⓑ → ⓒ → ⓓゴールの順に班のスカウトを配置する（ゴールは２人以上）。ポイントの設定は、あらかじめ行事部が行う。
②スタートの合図で ⓐスタートのスカウトに、問題文を伝える。
　そしてⓑ地点のスカウトに向け、その問題文そのものを手旗信号で送る。
③その問題文をⓑ地点→ⓒ地点→ⓓゴールへと伝える。
④ ⓓ地点のスカウトの１人は、受信した問題を解き、その解答を用紙に記入し、その用紙をⓐ地点の担当者用紙に提出する。
⑤スタートの合図から回答を提出するまでの所要時間を競う。

注意事項

＊競技中は絶対にしゃべらない。 情報が他の者に伝わってしまい不利になる
＊班長は全体を把握し、班員の安全管理を怠らない。
＊小雨実施　ただし豪雨その他、行事部が判断した場合中止。



エントリー

先着 、班ごとに実施

班・準備品

手旗（４式）、筆記用具など

○プログラムの結果発表

大会テーマは**「Play the Game！　～今こそつどえ！　互いに競え！～」**です。そこでこの３つの日本一プログラム「火を絶やすな『火起こし』」「わが旗かざし『班旗立て』」「ジョンブラン『手旗信号リレー』」に参加した班の記録は、順位をつけて、大会本部前掲示板に掲示します。

＊ それぞれの常設プログラムの毎日のチャンピオンには、行事特製のチャンピオンフラッグが与えられます。班旗の棒に班旗とともに取り付けて、他の団や班に大いに自慢しよう
＊ また、常設プログラム実施期間を通して、最も優秀だった班には、班員全員に豪華記念品を贈呈する予定です。



プログラム会場案内

①開会式の演技者集合場所
②常設プログラムの受付場所



火を絶やすな
「火おこし」



ジョン・ブラン
「手旗信号リレー」



わが旗かざし
「班旗立て」

③大会本部掲示板
⑤救護所

＊今後、プログラム等に変更があった場合は、大会本部掲示板及び連絡会議等でお知らせします。（変更は、現地での対応が可能な範囲で行います）

20IC（開会式・閉会式 入退場ルート）

